

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数)	54
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされています。	保護者のニーズと子供との成長度合いに応じて児童発達支援計画の作成を行っています。今後の成長なども加味しながら支援の幅を利かせられるように支援目標も柔軟にさせていただいています。	保護者が思っていることと指導員が思っていることを児童発達支援計画に反映できていないところもあるため、保護者がどう思っているのかという部分を指導員と話し合う機会を多くしていきます。指導員が思っていることを保護者につたわるように話し合う機会を増やしていきます。
2	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の健康や発達の状況について共通理解ができていると思います。	支援の時や送迎の送り迎いの時などに体調のことやその日に気になることがあればお聞きさせていただくことをしています。それが定着し保護者から教えていただくことができます。振り返りの時に気づいたことに関しても保護者に共有しています。	職員全員が子供達や保護者の状況などを認識できるようにコミュニケーションなどを行い、情報共有を怠らないようにしていきます。
3	子供は安心感をもって通所しています。	事業所内アンケートでも常に票をいただいています。子供達に寄り添い、その日の調子やその子に合った環境を可能な限り調整するように行っています。	多くの方は安心して来ていただいているが、嫌々来ている子供もまだいるため、子供の気持ちを汲み取れるように寄り添った関わり方を意識していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	外部での交流よりも事業所内での交流を大事にしています。そのため、イベントなどを行い、他の子との関わる機会を作っています。	個別支援のため、他の子との交流が少ないように感じさせてしまうこともありますので、イベントや振り返りなどで他児との交流ができる機会を増やせないか話し合っていきます。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1年に数回行っていますが、ブログなどで公開していないや、参加していただく保護者にしか連絡をしていないため、全員が周知していることが少ないと感じています。	公式LINEなどでこの日に防災訓練を行いますや行いましたなどを周知できるように行っていきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	あまりイベントなどの情報を外部の方に公開していないため、活動に対して周知ができていないと感じています。自己評価の公表も周知しているが認識していただいている方が少ないと感じています。	個人情報に関わるところもあるため慎重に外部に活動の公開をしていくのかを職員全員と話し合い決めていきます。自己評価の公表についても保護者が分かる工夫を職員全員で話し合い見つけていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 67

回収数 54

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	7	0	1	イベントなどの際は、子供の人数が増えて、少しスペースが狭いと感じることがありますが、通常は問題ないように思えます。もう少し体を動かしたりできるサーキットみたいながあると嬉しいです。フィードバックの時間に、子供が話を気にしているので、離れるスペースがあるといいかなと思います。	イベントなどでの子供の利用が多いときはバーションの移動など行っていますが、まだ圧迫感があるのかもしれないと職員と共にも再考し、より良く使っていただけようように心がけます。支援のメニューに聞かしましては指導員に伝えていただければ取り入れることもできます。離れた場所をとれるように努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	5	0	7	支援の内容には満足しており、定期的な通所回数を増やしたいのですが、人気のためか年度途中で枠がとりにくいため、職員数が増えるか場所が広くなると嬉しいです。週に1回の通所以外にも利用したいタイミングで連絡させてもらっていますが、いつも色んな先生に柔軟に対応していただいているので助かります。	通所の回数を増やすことができます申し訳ございません。可能な時には案内させていただきます。職員の数や支援の場所が広くなるように働きかけを行っていきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47	2	0	5	トイレに不安があるので、なるべく親が一緒に済ませるようにしていますが、急を要するときはきちんと自分一人で利用できるのか、心配があります。物の配置場所も明確でわかりやすく工夫がされています。	トイレに関しますが、その子が慣れた指導員と一緒にフォローしますので、お気軽にお申し付けください。物の配置につきましては母子供達がとりやすいように日々職員同士検討を重ねています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	48	4	0	2	空間は少し窮屈なように感じます。もう少し広さがあったらいいと思います。個室でない場合、他の子の様子が気になる可能性があります。いつもきれいにされていると思います。	場所の広さに限りがあり、不慣れな思いをさせてしまい申し訳ございません。機嫌の気を配らないように担当指導員も含めて色々な配慮を講じています。また、気になる際は御申しください。部屋を奇麗には職員一同気にしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	3	1	2	スタッフの能力に差があります。SSTなどの難しいところがあるが、その時の課題があれば相談させていただける環境には感謝しています。すぐ改善が見られるようなものではないからまだ、通所が半年なので、専門性のある支援については十分に理解できていませんが、子供の特性については理解していただけていると思います。	スタッフも研修や校舎見学などで常に成長のために探求していますが、差はあるかもしれませんが、それぞれのスタッフの得意不得意もありますので、ご了承ください。特性理解や相談できる環境作りは今後も徹底して意識していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	3	0	6	合っていると思います。	ありがとうございます。今後も変わらない評価をいただけるように精進していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49	3	0	2	いつも事前に、子供の今の状態を詳しく聞き取ってくださるうえで作成してもらえるので、本人にあった無理のない計画でありがたいです。偏ることなく客観的に作成いただいていると感じます。保護者の希望も聞いてくださりながら作成できて下さっています。	詳しく聞いてくださっているや無理のない、偏ることなく希望も盛り込んでいるとのことで、ありがたいお言葉です。今後もおっしゃっていただいている内容を踏まえて個別支援計画の作成に精進していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	1	0	5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	4	1	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	8	0	4	プリントが成長にあっていないように思います。もう少し定期的にプログラムが更新されたり、様々な内容があってもいいかなと思います。行き先のある線が通所を譲らないよう、本人のやりたいことも適度に組み込んでいただけていて、助かります。画幅の壁に子供の様子やニーズによって内容を調整されています。	しっかりとニーズや子供達の成長などを見計らい内容に合ったプログラムの作成を心掛けていきます。子供達の気持などにもフォーカスを当ててプログラムの作成も検討していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	6	15	20		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49	3	0	2	充分な説明があり安心して利用できています。	充分の説明をしていると評価していただきありがとうございます。今後も充分にそして丁寧に説明できるように精進していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	52	1	0	1	定期的にモニタリングをしてくださり支援内容について理解できています。	理解していただけるように伝えられ良かったです。今後も皆様に理解していただけるように精進していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	8	0	7	また色々企画していただけて、ありがたいです。平日の午前中など、仕事していると出席が難しい時間が多いので、土曜日などにも開催してもらえるとありがたいです。参加したことがないのでよくわかりませんが、機会があれば利用してみたいです。	利用者の兼ね合いにより平日の午前中になり申し訳ございません。土曜日など色々な日でできないか模索していきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	50	2	1	1	毎回保護者と子供の様子についてシェアできています。	今後もしっかりと些細なことからシェアできればと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	5	1	0	希望した時に、すぐ面談していただけるので、不安を持ち越さずに解消しやすいと思います。毎回及び定期的にこちらのニーズに合った助言をいただいています。	希望した時にすぐ対応できているか不安ですが、そのように言っていただきありがとうございます。今後も迅速かつ寄り添った行動を行えればと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	4	1	2	いつも本当に助かっています。一方的なアドバイスではなく、色々な可能性や方法を考えていただけて、話やすいです。困ったことがあると相談に乗っていただけて助かります。こちらの意図をいつも尊重してくださり共感的な支援を感じています。	皆様のご意見やお考えを尊重すること、可能性があることに対しては伝えることを意識しています。今後も一方的にならずに寄り添ったアドバイスができればと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34	9	3	8	兄弟同士の交流はわかりません。ママカフェが楽しいです。これまで、発達の問題を抱えるお子さんのお母さんと知り合う機会がなかったので、色々なお話を聞ける機会がありがたいです。	保護者同士の交流やいつも関わらないスタッフとの話をする機会を作ること意識していますので、今後も行えればと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	2	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	3	1	2	フィードバックをもらう際、子供に聞こえる距離だったりするので配慮が欲しいと感じます。充分配慮されていると感じます。	配慮が行き届いておらずすみません。きらりの教室内でできる配慮であれば行っていますので御申しつけください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	5	3	17		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	0	0	7		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	0	23		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	3	0	36		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	2	0	16		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	2	2	18	発生経験がないです。 今のところ事故など発生していません。	今後も事故や怪我が起きることがないように注意しながら支援などを行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	2	1	0	きらりに通うこと、苦手な勉強も、今本人が何とか頑張れるベストなレベルとボリュームで支援してもらえてると思っています。学校や家で勉強するのは絶対に嫌だけど、きらりだったら頑張ると思っています。先生が優しいと思っています。とても繊細ですが、少し無理や負担なく安心して通所しています。	きらりに行き流ることなく楽しく通ってもらえるようにスタッフ一同試行錯誤を行っております。何とかきらりでなら頑張れる何とかするとなっていたできるように日々子供達の様子を見ながら行っていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	9	2	0	娘にとって「家を出る」ということが大きなハードルなので、楽しみに家を出るということはほとんどありませんが、通所した時に自分の興味関心のある話を聞いてもらえたりするのは嬉しいようです。いつも帰るときに楽しかったといっています。毎回楽しみにしており、苦手な字書きも前向きに取り組んでいます。	家から出るハードルを少しでも下げていけるように、きらりに行きたいと思ってもらえるようにスタッフ一同検討していき、精進していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	4	0	2	子供が興味を持ってそうな課題や取り組みを色々考えて下っていて、集中して取り組める時間も増え、ありがたく思っています。娘の抱える特性や生活の中での困難さについては、良くなったかどうかはまだまだ分かりませんが、親として安心して暮らせる居場所になっていることが、とても満足です。	特性など色々なところに良い効果をもたらせることが1番いいのですが、皆様にはまずは安心して、通わせたい、通いたいと思える事業所に行っているように精進していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子供に合わせて広さを合わせいます。机があっても運動したり多くの支援教材を置いたりするスペースがあります。	支援室の数としては適切であるが、狭いところがあるなど、利用者によって割り当てを今後とも注意していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児発管の業務のサポートできることを考慮すると十分余裕があります。1人職員が増えたため、少しずつ利用店員や子供の人数に直し適切になってきています。	適切ではあると感じる反面、事務所に職員1人だけの時があり、支援後に子供達と遊べない時もあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		物理的に入れないようにシートフェンスを設置したり、子供に分かりやすい環境にしたりしています。必要な子には個室での支援を行っています。	今後も子供達に分かりやすいように環境作りに徹していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		ごまめに掃除や整理整頓を行っています。随時換気も行っている。	ゴミ捨てや掃除機などより気を配っていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室や相談室が整備されています。子供の特性や状況に合わせて使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングや日々の会話を通して行っています。	ミーティングなどで人前で声を出していない職員に対して話をしやすい環境作りが必要です。努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年事業所評価を書いていたで、内容を共有して業務改善に努めています。振り返りや面談などで、保護者様の話を聞く機会を設けています。	振り返りを行わない保護者や送迎で来られない保護者に対してどの様にコミュニケーションを図っていくのか検討が必要です。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1の機会が設けられています。毎朝のミーティングや1on1などで意見し、業務改善に努めています。	自発的に職員からの要望が少なく、待ちになっていると思います。待ちにならないように促していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		アンケートの実施や、相談事業所などからのご意見をいただき、業務改善に努めています。	第3者として意見を出していただけたところが少ないです。意見には真摯に受け止め努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内や外部の研修に定期的に参加し、職員の資質向上を行っています。	研修に参加できなかった人が動画などを見て研鑽している姿が少なく感じています。見逃したのであれば動画を見てもらえるように促していきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		義務のためHPや保護者の振り返りの時などに公開しています。	指導員でどこに公開しているのか、そもそも公開しているのかわかっている職員とわかっていない職員がいるため、周知していけるように努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的なアセスメントや日々の振り返りでニーズを確認し支援計画を作っています。保護者や子供の希望を聞いて目標を立てています。	職員によってアセスメントをとるだけになっていることもあります。意識していけるように促していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		管理者が指導員と話しながら作っていくことや日々の支援で情報を共有し共通理解ができています。支援のごことで共有や一緒に考える時間を設けられています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成後はファイル保管やデジタル保管をし、常に計画を確認しながら支援を行う環境ができています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		紙でアセスメントを記入してもらうこともしつつ、日々の支援の振り返りで近況を聞き情報を共有しています。	子供の状況に合わせた行動を意識はしているが、状況に応じた対応ができないときもあり、その時の行動を移すことができないときもあります。できる限り動けるように努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		適切に設定され、具体的な支援内容が設定されていると思います。	職員の中には「家族支援」、「移行支援」などはどういことなのかを理解していない職員がおられます。理解できるように知れる機会を作っていけるように努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員同士で相談しながらプログラムを立案しています。他の指導員の担当の子供を支援した場合の引継ぎなどは随時行っています。	チームで行うことはしていません。チームで考える意識は薄れてしまっている子もいます。薄れないようにミーティングなどで頻度を上げて伝えていけるように努めていきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		それぞれの子の特性や状況に合わせてプログラムの作成・変更を行っています。それぞれ個々で定着できるように、達成感を味わえるように固定する場合もあります。	状況や様子に合わせて本児に適切だと思った場合、固定して支援を行うことがあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要な子や利用者の状況を見て、可能な限り個別と集団を織り交ぜて支援を行っています。	個別のニーズを求めている方が多く、集団にできないケースもありますが、できる範囲で行えるように検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	支援開始前ではないが、職員が多い時間帯等にミーティングを行っています。	毎日やその日全員が揃わない日もあり、打ち合わせができないときもあります。参加できない職員への共有の仕方も検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	ミーティングや日々の会話を通して行っています。隙間時間などに引継ぎなどを行っています。	支援後に時間をとることができない時があり、その日に行うことができないこともあります。その日にできるように検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		写真や文字で記録するようにしています。記録をとり、今後や次の改善に繋げています。	職員によって記録を書くスピードや支援の量などで記録の出来が変わることがあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを対面もしくは期限内に来られない方に関してはZOOMなどで対応しています。	モニタリングの経験を児発管以外積めていないです。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		基本的に個別支援計画などに盛り込んで行っているため、職員は無意識のうちにこなしています。	理解していない職員もいます。理解していただけるように精進していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		職員の考えを押し付けることなく、利用者の考えを取り入れて、話を行うようにしています。利用者によって変わるが、自己選択できるよう支援や声かけをしています。	自分の意思をうまく伝えられない子に対する対応の仕方を日々アップデートしていく必要があると思います。検討していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者もしくは担当指導員が参加できるように日々の支援の調整を行っています。	管理者と担当指導員のお休みの兼ね合いなどで会議に参加できないことがあるため、調整し参加できるように検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要であれば関係機関との連携や情報共有を行えることを見学から契約を伝えています。	担当と管理者だけが関係機関と連携していることを認識していることが稀にあります。全体の理解度をあげていけるように努めてきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者から振り返りの時に情報共有いただくや、学校のHPで確認し情報を得ています。	保護者から情報共有がないと分からずにいることが多いため、こまめに職員の方から声掛けを行っていけるように努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		認定こども園などから情報の共有の要請があれば対応しています。	相手の要望があつて動くので、要望や希望がない場合、情報の共有ができていないです。必要な子にはこちらからの声掛けを行っていけるように心掛けていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	現状のような利用者がいないため対応していないが、求められ、保護者の了承を得られましたら情報の共有を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		案内などがあれば事業所内の周知は行っています。	スーパーバイズとは何なのかわからない職員がいます。受ける機会がありません。意味の共有や、もし受ける機会があれば職員に伝えていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		開催の案内があれば参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援での振り返りで伝えていきます。	振り返りに来れない保護者に対して毎回の支援の様子や日頃の様子を聞けないことがあります。なんとかお話をする機会を確保できるように努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		「ママカフェ」など事業所内での意見交換を行っています。	特定の保護者との交流が多いため、他の方が相談に来やすい時間や曜日設定を行う必要があり、検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や質問、必要な時に説明をしています。児発管兼管理者が行っています。	指導員が詳しくは理解できていないため、詳しく説明することができない。説明できるように理解を深められる機会を作っていければと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		振り返りやモニタリングの時に聞きしています。	家族や子供達の意向が利用年数が長いと職員が汲み取ってしまい、伝えてもらえないことが多くなります。支援の中など色々なところで聞けるように努めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画を作成・説明し、双方の認識のズレがないことを確認し同意を得てサインしていただいています。	半年に1回のペースのため、ニーズの変化に対応できていない時があります。こまめに声掛けを行っていけるように努めていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ママカフェや利用者の支援中などに適宜対応しています。	保護者からの声掛けで対応することが多く、職員から気づきアクションが起こせるようになる必要があると思います。今後努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者との交流をママカフェなどを通じて行っています。	交流できる機会が不定期なため随時行えるように基盤を作っていく必要があり、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があれば児発管と共有し、迅速かつ適切な対応を心掛けて動いています。	職員で対応できる範囲、事業所内で対応できる範囲の基準がなく、どこまで対応するべきなのか悩むことがあります。話し合い基準などを見つけていけるように努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEなどを活用し、伝えなければならぬ情報は全体に伝えています。	公式LINEだと送れるメッセージ数に限りがあり、頻繁に伝えられないです。別の方法も検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカーの活用、不要になった書類はシュレッダーなどで破棄しています。同意書もいただいています。	十分な配慮をしているが、防音対策がされていないため職員間での話している内容が他の保護者に伝わっているかもしれないです。可能な限り起きないように努めていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要な子には視覚的に伝わるように絵カードを使うや、特性に応じてコミュニケーションがとれるように努めています。	特定の指導員が対応することもあり、できる職員とできない職員がいる状態です。皆ができるように努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域で認知していただくためにどの様にするのがいいのか検討しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時の説明や、必要があれば保護者に伝えています。	周知しているが、認識していない保護者が一定の方おられます。全員が認識してもらえるように周知したことの確認などを行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一度の防災訓練を実施しております。ビルで行われる避難訓練にも参加しています。	子供達が参加する機会がすくなくです。参加できる機会を作ること検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認や情報共有を見学や体験、契約された後に職員に共有しています。	実際にその境遇になったときに対応できるかは、今まで起きたことないためわからないです。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーが起きないようにするため食物の提供を行っていないです。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		「どのように行動すればよいか」など実例を交えて話し合いミーティングや研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先の作成や保護者などのようにしていくのかの話し合いや周知は行っています。	契約時などに伝え、それ以降聞いていない方もおられるため、忘れての方がいるかもしれないです。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書の作成や事業所内での共有を行っています。	休んでいる職員に対して、報告書での共有のみになってしまい、しっかりと認識できているのか不明瞭なところがあります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1年に計画されて研修を全員が受けるように行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画の説明のときや契約時に周知は行っています。	どのケースが身体拘束になるのか理解していない職員もいる状況です。しっかりと全体が理解できるように努めていきます。